

米



新潟県 (株)佐渡相田ライスファーマーミング

『佐渡米を世界へ!!』

【主な品目】

精米・玄米

【主な輸出先国・地域】

フランス(パリ)・中国(上海)

【輸出取組の概要】

- ◆ 生産者自らが香港、シンガポール、上海でのフェアに参加し、佐渡のコメをPR。現在はパリ、上海で販売。来季に向け5年前から進めているNYへの販路拡大を本格的に現地販売先と模索中。
- ◆ バイヤーのニーズに着実に応えるとともに、現地カウンターパートが必要な情報を提供するなど、綿密なコミュニケーションを重ねて信頼関係を構築し、輸出を実現。
- ◆ パリやNY等、自社企画の現地イベントを開催。佐渡島の芸能文化やお酒や食、観光客誘致等を絡め佐渡島の地域全体を売り込むことで、さらなる販路拡大を目指す。

【輸出実績】(平成26年度から輸出開始)

	輸出量(kg)	出荷時期
令和6年度	17t	10～9月
令和元年～5年度	250kg～5t	

【取り組む際に生じた課題】

- ・ 商談時の意思疎通の困難さ(言語の違いなど)。習慣の違い。
- ・ 輸出入規制情報(コメ輸入ライセンス、ラベル表示、受入貯蔵設備等)の認識不足。
- ・ 各国の国際情勢の変化に影響を受け輸出量が減った。
- ・ コロナによる影響により国外への営業自粛となったことから、令和元年～2年度の輸出量が減少。

【生じた課題への対応】

- ・ 効果的な通訳の活用及び口頭ではなく記録に残る方法(SNSなど)での迅速かつ密接なコミュニケーションにより、海外の販売先との信頼関係を構築。
- ・ ジェトロ情報等を活用し、積極的な情報収集と輸入者側への情報提供を実施。
- ・ アジアだけでなく欧米にも販路を開拓するため、GLOBALG.A.P.を取得。

【対応の結果】

- ・ 香港の高級日本料理店との販売契約を締結(現在はコロナも含め休止)。
- ・ パリ、ニューヨーク、上海等で販路を開拓し新たな取引がスタート。
- ・ パリでは2021年10月から「パリのおにぎり屋」で使用開始。
- ・ 2018年から7年連続にGLOBALG.A.P.を取得中。国際的な品質証明として力を発揮し続けている。少量だが有機JASも3年かけて取得した。

【今後の課題・展望】

- ・ 輸出先の国内情勢の変化により安定した出荷ができないことを痛感。アジアだけでなく欧米等の輸出先も確保することが必要。来季に向けて、5年前から動いているNYへの本格的な販路拡大を進めている。
- ・ 観光も含めた地域の特色を生かした販売戦略が必要。
- ・ 今後は、有機JAS取得したお米のオーガニック市場を視野に入れた生産販売戦略を進める。

【活用した施策・支援】シンガポール伊勢丹新潟フェア、香港そごう新潟フェア、ジェトロ香港、シンガポールおいしいジャパン、シンガポール伊勢丹、ジェトロ貿易投資相談、JAグループ商談会等販路拡大の活動支援事業

【ウェブサイト】 <http://www.aidarice.website/>

【連絡先】 担当者名: 代表取締役 相田 忠明 Tel 0259-22-3467 Mail t-aida@sadoyanippon.com



2015年2月香港新潟フェア



2018年2月パリで自社企画佐渡祭開催



2022年パリのお店でPR